

2011年度

科目名	教育福祉特講				
担当教員	桜井 智恵子、岡崎 裕子、大倉 孝昭				
配当	専攻1		コード	80029	
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数	4
授業テーマ	「よく生きる」well-being社会の形成と「教育福祉」の本質 ―学校における福祉の教育―				
目的と概要	すべての人が、この社会で大事にされ、支え合い、『「よく生きる」well-being社会』を形成していくことは、人類すべてに課せられた共通の究極目標である。well-being(福祉)は、人の「生き方」そのものに課せられた命題であり、教育が求める本質そのものである。 本講義は、学校教育の基盤である「福祉の教育」について研究を深めるとともに、日本の福祉社会を構築し、支えて生きる「人間づくり」について考察をすすめ、自らの教育観を確立する研鑽の機会とする。また、教育と福祉の両領域における現代的ニーズをとりあげ、実態把握、社会的背景の分析を試みる。さらに、具体的対応に関する教育的アプローチと社会福祉のリソース利用を学習する。 教育学教員と社会福祉学教員が担当する本講義の特色をいかし、両領域からの最新情報や、教育と福祉の連携のあり方について検討をすすめると同時に、福祉社会を構築しそれを支えて生きる「人のありよう」について、「人間と福祉」からの考察をすすめる。 本授業は、講義および各自が設定したテーマに関する研究実践により実施する。				
成績評価法	(1)日常の学習姿勢・態度 50% (2)教育小論文・課題報告文 50%を、総合的に評価する。				
テキスト	第1回目の授業時に指示する。				
参考書	適時、紹介する。また、資料は必要時に配布する。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	担当教員の指示にしたがうこと。				
講義計画					
I. 「教育の本質」と教育福祉（桜井）					
II. 「教育福祉」の推進と方法（岡崎）					
III. 教育と福祉の両領域に重なる問題（桜井） (1)学校の現在 (2)家庭の現在 (3)教育福祉問題の社会的背景					
IV. 教育福祉問題へのアプローチ（桜井） (1)子ども主体の実践① (2)子ども主体の実践② (3)さまざまな取り組み (4)総括					
V. 特別支援教育の現状と課題（岡崎） (1)現状の分析 (2)現状の分析 (3)指導法をめぐって (4)指導法をめぐって (5)指導法をめぐって (6)課題と対応					
VI. 研究(大倉) (1) 講義と研究法指導 (2) 課題研究 ・事例研究(報告文)と指導講評 (3) 演習 ・教科授業にある「個を伸ばす・学習集団を生かす」指導の方法について ・日常場面の事例と対応の研究・考察 ・学級経営と学級づくりの基本 ・保護者対応と教育姿勢 ・教育小論文作成と研究討議 (4) 自己育成期録「進歩のノート」作成 (5) 自己育成記録「進歩のノート」作成 (6) 自己育成期録「進歩のノート」作成					
*上記授業中に、ゲストティーチャーによる「実践アクセス授業」を含む予定					